

## 競技上の注意

審判長 澤井美由貴

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 選手は令和4年度日本卓球協会のゼッケンをつける。
- 3 試合は公認プラスチック球（VICTAS VP40+スリースター）を使用する。
- 4 試合はダブルスから行う。予選リーグ、決勝トーナメント、決勝リーグすべて5ゲームマッチで行う。予選リーグ1位のみ決勝リーグに進む。
- 5 タイムアウト制は、ダブルスの準決勝、決勝とシングルの決勝リーグで採用する。
- 6 決勝リーグの試合順は、同一チームから2名出ている場合は、その対戦を先に行う。その他の場合は、プログラムに示してある順で試合を行う。
- 7 ベンチコーチは1名で、本大会に出場している選手、または参加申込時に登録をさせているアドバイザーに限る。アドバイザーの当日変更は認めない。  
アドバイザーは1マッチの途中で交代しないこと。  
同時に複数の選手のアドバイスをする場合、アドバイザーが移動するものとし、選手はプレー領域を離れないようにすること。  
アドバイスは決められた時間に行うこと。応援も拍手のみとする。
- 8 リーグ戦は空いている選手が審判を行う。トーナメントに入ると1回目の審判は指名するが、その後は敗者審判とする。決勝リーグの審判は、決勝リーグに出場しているチームの選手から出してください。
- 9 試合前のラケット交換は、見せ合うだけとする。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- 1 こまめな消毒と手洗いうがいを心がけること。
  - ・選手・審判は1試合ごと手指を消毒する。
  - ・1試合ごと、得点盤、バインダーは除菌シートを用いて消毒する。
  - ・試合後はペーパータオルで試合球を拭いて元に戻す。
- 2 選手はプレー中以外マスクをすること。
- 3 アドバイザー・帯同者はマスクと受付でお渡しする名札の着用をお願いします。
- 4 飲食は自分の持参した物のみとし、向かい合って食事をしないこと。
- 5 タオルは複数枚用意し、共用はしないこと。
- 6 応援は拍手のみとする。選手も試合中に声を張り上げないこと。
- 7 握手やハイタッチなど体に直接触れる行為はしないこと。
- 8 スタンドでは密集しないように座ってください。